

# スポーツの定義

勝敗や記録を競う競技スポーツだけでなく、  
心身の健康の保持・増進、日常生活の中での楽しみ、生活の質の向上を目的とした  
**すべての人が取り組みやすい自発的な身体活動のこと**

この計画では、「スポーツ」は、勝ち負けを競う競技だけでなく、健康づくりや気分転換、日々の楽しみとして体を動かすことも含む、幅広い活動を表すこととします。  
誰もが自分のペースで無理なく取り組めることを大切に、年齢や障がいの有無にかかわらず、身近に楽しめる存在として広がっていくことを目指します。多様なスポーツを通じ、地域のつながりやまちづくりにもつなげていきます。



## 第1期土岐市 スポーツ推進計画

# 誰もがいつまでも いきいきとスポーツを楽しみ げんきを生み出すまち

### 基本理念

**誰もがいつまでもいきいきと  
スポーツを楽しみ  
げんきを生み出すまち**



土岐市全体で連携し、  
市民のスポーツを推進します。

土岐市は、スポーツが持つ、身体と心を元気にし、人々のつながりも深めてくれる力を活用し、土岐市民が、より一層元気で活力にあふれる毎日を過ごすことを目指しています。

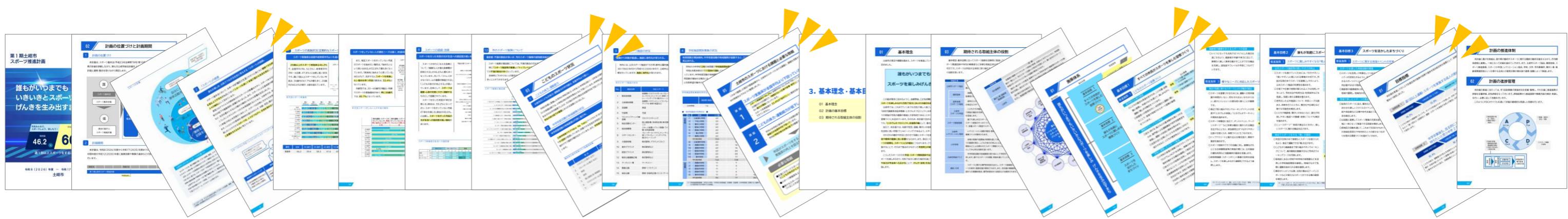
こどもの時から高齢になっても、市民みんなが一緒にスポーツを楽しむことで、その元気や活力が、市全体にも広がっているようなまちを目指します。

スポーツを効果的に推進するため、市だけでなく、スポーツ関連団体や市内の事業者、学校など多様な取組主体が連携し、それぞれの視点から役割を担うことが不可欠です。  
市民がスポーツに主体的に行う時に、市や関係機関は、その活動を支え、つなぐ役割を担います。



週1回以上スポーツをする人の割合





**課題1 スポーツ実施率が全国平均を下回る**

土岐市のスポーツ実施率は46.2% 全国平均は52.5%

**課題2 こどもの体力・運動能力が低下している**

土岐市の小中学生の体力・運動能力は、ほぼ全学年で全国平均を下回る

**課題3 今後のスポーツを支える体制の持続性に不安がある**

地域スポーツ団体の指導者・競技者・会員の高齢化と固定化が課題

**課題4 スポーツに関する情報発信が不足している**

スポーツ施策は認知度が低く、施策満足度評価でも、「わからない」が60.0%

**取り入れられるべき方向性** 国や県では「スポーツによるまちづくり」が推奨されている  
市民アンケートでもスポーツが交流やまちの活性化につながるとの意見がある

**施策体系** 3つの基本目標を定め、スポーツを推進します。



必要な取組

1. 市民がスポーツをすることに重点を置き、スポーツ実施率の向上を図る取組が必要です。
2. スポーツ実施を支える場、人材・体制を含めたスポーツ環境の充実が重要です。
3. スポーツの力を活用した市民交流・市民の活力(げんき)の創出が重要です。



なぜスポーツを推進するの？

スポーツは、市民の心と体の健康を高め、毎日の生活をより豊かにしてくれるからです。さらに、年齢や性別、障害、国籍をこえて人をつなぎ、交流を生み出す力があります。

これは、土岐市の目指す市民のウェルビーイング(身体と心、社会とのつながりにおける幸福や満足感)の向上につながります。

誰もが安心してスポーツを楽しみ、いきいきと暮らせる環境づくりを進めるため、スポーツ推進に取り組んでいます。



日常生活や軽いスポーツで消費するエネルギー

あれもこれもスポーツ



※METs は身体活動の強度を表す単位。安静時を「1」として、各活動が何倍のエネルギーを消費するのが示されています。  
資料:国立健康・栄養研究所 - 改訂版『身体活動のメッツ(METs)表』より

**計画の目標指標** 10年間の目標を定めて、計画の進捗や施策の効果を確認しながら取組を推進します。

計画の目標指標	実績値 (令和7年度)	中間目標 (令和12年度)	最終目標 (令和17年度)
週1回以上運動・スポーツを実施する成人の割合	46.2%	53.0%	60.0%
中学卒業後も、自主的にスポーツをする時間を持ちたいと思う中学2年生の割合	82.4%	86.0%	90.0%
学校施設開放事業利用回数	6,714回	6,750回	6,800回
土岐市のスポーツ施策に対する市民満足度	19.3%	25.0%	30.0%